

# 市川自然博物館

## 4・5月号

（通巻67号）

## たより

### 花Ⅰ『身近な花』 の特集



△カタバミの花

ありふれた花で、アスファルトの隙間からでも生きてきます。日が射すと開く黄色い花は、アップで見れば園芸植物のように可憐です。

# 花Ⅰ 『身近な花』

の特集

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

今年度は、市内の野生植物について特集します。市川市は、その大半が住宅地などの都市環境で占められていますが、林や湿地、海辺などの環境も一部に残されています。この特集では、そういった異なる場所ごとに、代表的な種類について花の写真を用いてご紹介します。第1回は、身近な場所で見られる植物です。



オオイヌノフグリ

春、市内のいたるところで青い花の群落を形成します。帰化植物ですが、日本の春を代表する花としてすっかり定着しています。花は、形が異なる4枚の花びらでできていて根元の所でくっついています。花に触れると、全体がポトリと落ちます。  
(花：3～4月 ゴマノハグサ科)

ホトケノザ

オオイヌノフグリと同じく、春の道端を彩ります。花はピンク色で筒の形をしていて、その先端がひらいています。上下に分かれた花の形はシソ科に共通の特徴で、虫たちは下側の広い花びらに着地してから筒にもぐり込み、奥の蜜にありつきます。

(花：3～4月 シソ科)





### シロツメクサ

いわゆるクローバーで本来は牧草として栽培される植物ですが、市内では公園や堤防などの緑化によく用いられます。白い丸い花は、よく見ると小さな花が集まってできていて、ひとつひとつの花は俗に言う「まめの花」の形をしています。この形の花を「蝶形花 (ちょうけい)」と呼び、マメ科の植物に広く共通しています。

(花：春～秋 マメ科)

### ツユクサ

鮮やかな青色をした2枚の大きな花びらが見る人に強烈な印象を与えますが、正確には花びらは3枚あります。残りの1枚は雄しべを受けるように下側にあり、白くて小さく目立ちません。花は早朝に開き、午後にはしぼんでしまいます。

(花：7～9月 ツユクサ科)



### ネジバナ

初夏の芝生に現れて、ピンク色の花をねじれた並びで咲かせます。この花の並びが名前の由来で、右巻きも左巻きもあることが知られています。ラン科としては珍しく町なかにも自生し、ひとつひとつの花をよく見ると小さいなりに目立つ唇弁 (しんべん：下側の大きな花びら) がラン科であることを納得させてくれます。

(花：5～7月 ラン科)



チカラシバ

ねこじゃらし（エノコログサ）を巨大にした、ブラシのような花を咲かせます。イネ科の花は構造が複雑なのですが、粒粒がひとつひとつの花の単位で、それが集まって全体の形を構成しています。市内でも秋の空き地などでよく見られます。

（花：8～10月 イネ科）



### イヌキクイモ

夏の終わり頃、高さ2m近くにもなって黄色い花をいくつも咲かせます。ヒマワリに近縁の植物で、花の大きさこそ小型でコスモスくらいですが、黄色の鮮やかさはヒマワリに劣らず見事です。帰化植物ですが市内では幅広く見られ、11月ごろには、よく似たキクイモも見ることができます。

（花：8～9月 キク科）



### セイタカアワダチソウ

一時、花粉症の原因との濡れ衣を着せられました。観賞用に栽培された帰化植物で、近年は花の美しさが再評価されて、近縁の種類（と思われる）がソリダゴ（学名の英語読み）の名で流通しています。花は、小さな花が枝に列に並んでできていますが、その小さな花もさらに小さな花が集合してできています。

（花：9月～11月 キク科）



# 街かど自然探訪

おじやします!

ほんしお

本塩・桜とミツバチ

本塩で桜の花を見られる場所は、法善寺と豊受神社の周辺で、今年は4月7日には満開でした。桜の花をよく見ると、ニホンミツバチが蜜や花粉を集めにたくさん来ていました。ニホンミツバチは日本特有のミツバチで、セイヨウミツバチに比べて全体的に黒い身体をしています。一時は少なくなっていたニホンミツバチも、最近では町中に花が多くなってきたことや天敵との関係などの理由で増えていくようです。



## RDB レッドデータブック

掲載種紹介



### エビネ



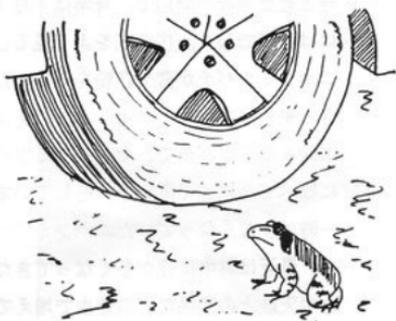
分類  
種子植物 ラン科  
ランク  
絶滅危惧Ⅱ類

絶滅に瀕した野生植物をリストアップすると、ラン科植物の名前がずらりと並びます。環境の破壊と人間による掘り取りのダブルパンチを受けているからです。エビネも、本来は雑木林で普通に見られるはずの植物です。ところが市内では生育に適した林が激減したうえに、林が残っていてもエビネだけが姿を消しているのです。おそらく野生の株は、市内全域でも数十程度しかないでしょう。掘り取られたら、ひとたまりもありません。

## アカガエルの交通事故

「3月5日。朝5時頃の犬の散歩で、アカガエルが車にひかれているのを見つけました。冬眠からさめ雨に誘われ、うろついていたところは自動車の通る道で、運悪く避けられなかったのでしょう。平たくつぶれていました」

—2月に雨がなかったせいで、場所によってはアカガエルの産卵が3月にずれ込みました。待望の雨で「さあ、ひと仕事！……」という時の事故だったのでしょう。(情報提供：水垣麻理子さん)



### むかしの市川

このコーナーでは、博物館が1986年に行ったアンケート調査の結果から、むかしの市内の様子を紹介しています。

(原則として回答の原文のまま)

・昭和5年頃、家の廻りは梨畠、ブドウ畠、桃畠で道は細く、朝は草露で足許がぬれ、松の木、椎の木、檜の木、杉、檜と木が沢山あり、リスが木づたいに飛んで、キジ、ウズラも良く見られました。真間川は境川と言って、現在の

富貴島小学校の処で、匠堀と木製の樋で交差して、フナ、タナゴ、ドジョウ、エビが沢山いても誰も取らなかった。

(八幡)

- ・家の裏の真間川では魚が沢山いて土手にはアシヤレンゲ、セリなどがあった(昭和8、9年ごろ)。(菅野)
- ・家の近くには川があり、水草がたくさんはえ、フナやナマズ・ハゼ・ボラ・うなぎなど釣れた。また、せんたくも出来た(昭和10年頃)。(押切)

わたしの  
**観察ノート**  
No.49

◆大町公園より

- ・今年初めて、ウグイスのさえずりを聞きました(3/2)。

小川 晃(自然博物館)

- ・ヨシガモがひとつがい飛来していました。(2/14)。
- ・コブシがひとつふたつと、ようやく咲きだしました。(3/21)。

- ・昨夜雨が降り、ヒキガエルがいっせいに産卵しました(3/28)。

金子謙一(自然博物館)

- ・ヤマトシジミやスジグロシロチョウが花に吸蜜に来ていました。(3/25)。

清野元之(自然博物館)

◆大野町付近より

- ・駒形神社でウグイスの初鳴きを聞きました(3/4)。

横山永喜さん(松戸市在住)

◆大柏川付近より

- ・グリーンハイツ前の池でカワセミを見ました(2/21)。大野中央病院前でモンシロチョウが飛んでいました(3/7)。

横山永喜さん

- ・タヌキを見ました。車のライトに驚いて道路をしばらく走った後、ヨシの茂みに入っていました(3/5)。

宮橋美弥子(自然博物館)

- ・大柏調整池でコチドリ2羽、オオハシシギ1羽を見ました(3/11)。

石井信義さん(菅野在住)

◆柏井雑木林より

- ・オオタカが上空を飛んでいました。
- ・林縁にオジロビタキがまだいました。写真を撮る人達が入れ代わりやっ来ていて、まんまと餌付けされてしまったようです。柏井散策会にて(2/19)。

金子謙一

◆堀之内貝塚公園周辺より

- ・道免き谷津の湿っぽい草原にタゲリが15羽も来ていました(3/14)。道免き谷津で越冬したのでしょうか?

金子謙一

◆江戸川より

- ・国府台の江戸川河川敷でクイナを1羽、キジの雛を2羽、カワセミを1羽を見ました。(2/20)。

根本貴久さん(菅野在住)

◆江戸川放水路より

- ・江戸川放水路の堤防上でヒバリが数羽さえずりながら飛び立っていました。ノスリが1羽のカラスに追われながら飛んでいました(2/10)。
- ・コチドリが干潟で数羽、春を告げるようにさえずっていました。(3/30)。

金子謙一

- ◎2月は例年より寒く、雨が少なかったです。3月に入り、例年並の春らしい気候になりました。



# 行事案内



§ 申込の必要な行事です §

## 自然観察会

毎月テーマを変えて、市内各所に出かけます。内容によりコースの区別があります。

- 親子コース…親子向けの内容で、楽しみながら自然に親しみます。  
定員 先着10組
- 一般コース…大人向けの内容で、じっくりと観察し、分類や環境などについて  
わかりやすく解説します。 定員 先着20名

テーマ	コース	日時	場所	受付開始
トビハゼと ヒヌマイトトンポの観察	一般コース	6月25日(日)午後	江戸川放水路	6月3日～

## 〒申し込み方法

往復はがきに参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、行事名と参加したいコース名、参加希望日を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

§ 申込の必要はありません § 直接会場におこしてください。

## 柏井散策会

市内で一番大きな雑木林を散策しながら、四季の自然を楽しみます。

申し込みは必要ありません。はじめて参加される方は、事前に博物館にお問い合わせください(交通手段等ご案内します)。

- ・日時 毎月第3土曜日 午後1時30分～3時
- ・雨天は中止です。
- ・毎回のご案内は、毎月第2土曜日発行の『広報いちかわ・施設ガイド』をご覧ください。

## 自然博物館平成12年度行事案内

ができました。

4月から1年間の行事の予定表です。ご希望の方には郵送いたします。90円切手同封の上、自然博物館までお申し込みください。

(自然博物館のホームページでもご覧いただけます。)

市立市川自然博物館だより  
第12巻 第1号 (通館第67号)

発行日/平成12年4月30日

編集・発行/市立市川自然博物館  
〒272-0801 千葉県市川市大町284番地

☎047(339)0477

http://www.city.ichikawa.  
chiba.jp/nature/